

「三陸復興国立公園・保全活動発表会 ～未来につなごう 美しい自然～」開催報告

■平成25年11月9日(土)、八戸ポータルミュージアムはっち(八戸市三日町11-1)において、新たに国立公園に指定された種差海岸・階上岳地域で行われている保全活動を紹介するため、活動団体等による展示やスライド発表などを内容とする「三陸復興国立公園・保全活動発表会」を開催しました。



展示発表の状況。各団体がそれぞれ展示し、来場者に説明をしました。



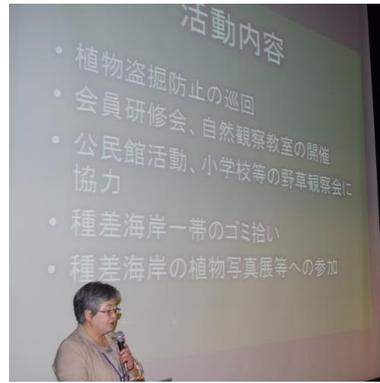
■参加した10の団体等からは、種差海岸や階上岳の清掃活動、植物の保護、森林の管理、ウミネコ生息地の保護、自然環境の調査、子どもたちの自然体験学習など、それぞれの活動状況や今後取り組んでいきたいことなどについて報告をしていただきました。一般の来場者に活動を知っていただく機会になったほか、参加者同士がお互いの活動に理解を深める場になりました。



コーディネーターとして発表の進行をする高橋晃先生



名久井農業高校生徒によるサクラソウ保護活動の発表



スライド発表の状況。各団体が活動内容、今後の抱負などを発表しました。



■また、特別発表として公益財団法人日本自然保護協会の小此木宏明(おこのぎひろあき)氏から、東日本大震災の津波によって海岸植生がどう変わったのか、青森県から千葉県までの海岸を市民の協力により調査した結果について報告をしていただきました。参加者は海岸植物の現状や生育地の保全などについて理解を深めました。



日本自然保護協会の小此木宏明氏による報告

■このほか会場では、写真展「種差海岸の昔と今」、子どもも楽しめるコーナー「国立公園の下敷きづくり」、みちのく潮風トレイルの体験映像の放映、種差海岸・階上岳の自然環境パネル展示などを行いました。親子連れを含めて多くの来場者があり、三陸復興国立公園やみちのく潮風トレイルの情報発信にもなりました。



写真展「種差海岸の昔と今」



熱心に発表を聞く来場者



国立公園の下敷きづくり

■当日の来場者は延べ約180人に上り、スライド発表の時間帯では会場の席が満席になるような状況でした。自然の保護・保全や市民の活動について、来場した多くの方々に関心をもっていただくことができました。



みちのく潮風トレイルの体験映像の放映

発表・展示等の内容

■参加団体・発表内容等

参加団体	発表内容	展示内容
青森県立名久井農業高等学校 チーム フローラ フォトニクス	希望の花プロジェクト ・サクラソウ保護活動	津波被害にあった種差海岸 のウツクシ自生地に関する研究
八戸市水産科学館マリエント 「ちきゅう」たんけんクラブ	活動紹介 ・種差ジオパークの大研究	種差ジオパークの大研究
名勝種差海岸・鮫町の自然を守る会	活動紹介 ・植物盗掘防止の巡回活動など	活動紹介
八戸市森林組合	活動紹介 ・クロマツ林の間伐など	海岸林の写真展示
はちのへ小さな浜の会	活動紹介 ・海岸の定期清掃など	—
植物観察「わの会」	活動紹介 ・植物の開花調べなど	活動紹介
八戸山友会	活動紹介 ・階上岳の清掃など	活動紹介
八戸工業大学 バイオ環境工学科 鮎川恵理	三陸海岸最北部の海崖地植生の変化 ・津波の影響	—
ウミネコ繁殖地 燕島を守る会 日本鳥学会員 成田章	活動紹介 ・ウミネコの保護・監視活動など	ウミネコの繁殖状況など
日本野鳥の会あおもり	—	活動紹介（生態系保全の取組）

- 特別発表 「大津波は砂浜の植物群落に影響を与えたか？」
公益財団法人 日本自然保護協会 小此木宏明氏

■主催者等による展示・企画

企画	出展者
種差海岸・階上岳地域の自然環境パネル展示	青森県自然保護課
外来植物オオハンゴンソウの駆除対策情報コーナー	青森県自然保護課
三陸復興国立公園、みちのく潮風トレイルのPR展示	環境省東北地方環境事務所
工作コーナー「国立公園の下敷きづくり」	環境省東北地方環境事務所
写真展「種差海岸の昔と今」	八戸市教育委員会社会教育課
みちのく潮風トレイル体験映像の放映	NPO 法人 ACTY（映像提供）

本報告に関する問い合わせ先

青森県環境生活部自然保護課

(青森市長島一丁目 1-1 電話 017-734-9256 メール shizen@pref.aomori.lg.jp)